

アムンディ・欧州CBファンド
 (ユーロコース)
 <毎月決算型>

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（転換社債）	
信託期間	2014年3月28日から2019年7月18日までです。	
運用方針	欧州の転換社債（CB）を主要投資対象とする「ストラクチャラ-欧州コンバーチブル（I10シェアクラス、ユーロ）」を主要投資対象とし、中長期的な投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。なお、「CAマネーブルファンド（適格機関投資家専用）」への投資も行います。原則として対円で為替ヘッジは行いません。	
主要運用対象	アムンディ・欧州CBファンド（ユーロコース）<毎月決算型>	ストラクチャラ-欧州コンバーチブル（I10シェアクラス、ユーロ） CAマネーブルファンド（適格機関投資家専用）
	ストラクチャラ-欧州コンバーチブル（I10シェアクラス、ユーロ）	欧州の転換社債
	CAマネーブルファンド（適格機関投資家専用）	本邦通貨表示の短期公社債
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。原則として外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎決算時（年12回、原則毎月18日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

運用報告書（全体版）
 第2作成期

第5期	（決算日	2014年8月18日）
第6期	（決算日	2014年9月18日）
第7期	（決算日	2014年10月20日）
第8期	（決算日	2014年11月18日）
第9期	（決算日	2014年12月18日）
第10期	（決算日	2015年1月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに作成期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

お客様サポートライン 0120-202-900（フリーダイヤル）

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス：<http://www.amundi.co.jp>

アムンディ・欧州CBファンド（ユーロコース）〈毎月決算型〉

■設定以来の運用実績

	決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込 分 配 金		期 騰 落 中 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率	純資産総額
			税 分	配 金				
第1作成期	(設定日) 2014年3月28日	円 10,000	円 -	% -	% -	% -	百万円 55	
	1期(2014年4月18日)	9,921	0	△0.8	0.9	92.9	278	
	2期(2014年5月19日)	9,794	0	△1.3	0.8	97.0	295	
	3期(2014年6月18日)	9,791	5	0.0	0.8	95.6	305	
	4期(2014年7月18日)	9,567	5	△2.2	0.8	97.0	309	
第2作成期	5期(2014年8月18日)	9,412	5	△1.6	0.8	97.2	304	
	6期(2014年9月18日)	9,627	5	2.3	0.8	97.3	311	
	7期(2014年10月20日)	9,014	5	△6.3	0.9	97.2	291	
	8期(2014年11月18日)	9,804	5	8.8	0.9	97.3	278	
	9期(2014年12月18日)	9,846	5	0.5	0.5	96.3	193	
	10期(2015年1月19日)	9,367	5	△4.8	0.6	97.0	177	

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額(10,000円)です。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークを設定しておりません。以下同じ。

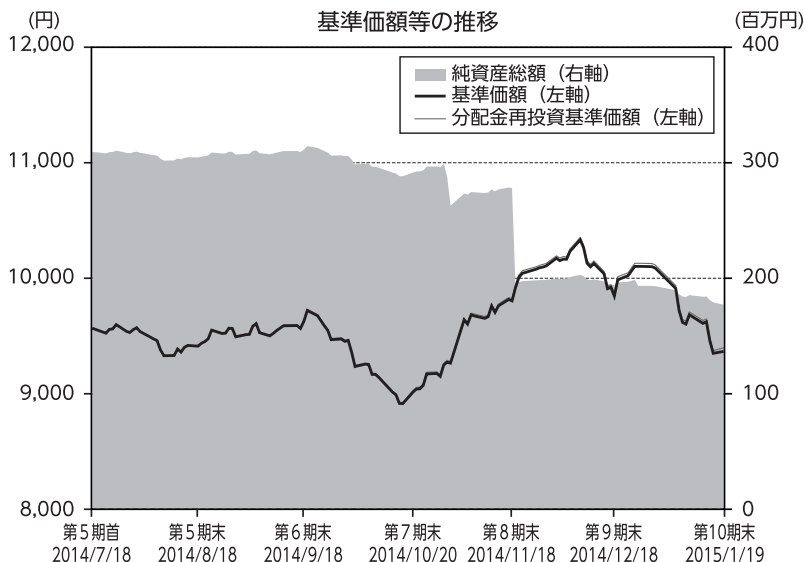
■当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基準価額	騰 落 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率
第5期	(期首) 2014年7月18日	円 9,567	% -	% 0.8	% 97.0
	7月末	9,572	0.1	0.8	97.0
	(期末) 2014年8月18日	9,417	△1.6	0.8	97.2
第6期	(期首) 2014年8月18日	9,412	-	0.8	97.2
	8月末	9,493	0.9	0.8	97.3
	(期末) 2014年9月18日	9,632	2.3	0.8	97.3
第7期	(期首) 2014年9月18日	9,627	-	0.8	97.3
	9月末	9,454	△1.8	0.8	97.3
	(期末) 2014年10月20日	9,019	△6.3	0.9	97.2
第8期	(期首) 2014年10月20日	9,014	-	0.9	97.2
	10月末	9,264	2.8	1.0	106.3
	(期末) 2014年11月18日	9,809	8.8	0.9	97.3
第9期	(期首) 2014年11月18日	9,804	-	0.9	97.3
	11月末	10,106	3.1	0.5	96.5
	(期末) 2014年12月18日	9,851	0.5	0.5	96.3
第10期	(期首) 2014年12月18日	9,846	-	0.5	96.3
	12月末	10,088	2.5	0.5	99.8
	(期末) 2015年1月19日	9,372	△4.8	0.6	97.0

(注) 期末基準価額は当該期の分配金込み、騰落率は各期首比です。

【基準価額等の推移】

当作成期の基準価額は、期首9,567円で始まり、期末には9,397円（期中分配金合計（税込み）30円込み）となり、170円の下落となりました。



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2014年7月18日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

【基準価額の主な変動要因】

下落要因

- ① 2014年7月下旬から10月中旬にかけて、軟調な商品市況や、ロシア、ブラジルなど新興国市場の問題をきっかけに株式市場に神経質な動きが見られ、この影響がCBの流通市場にもおよんだこと
- ② 2014年の夏場から期末にかけて原油価格が大幅に下落し、当ファンドが保有する石油関連サービス企業（Subsea、CGG社）や石油生産企業（Galp、Repsol）発行のCB価格を押し下げる要因となったこと
- ③ ユーロが対円で下落したこと

上昇要因

- ① 2014年10月中旬から翌年1月にかけて、ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁などが国債の購入も含む量的緩和策の導入に積極的な姿勢を示したことから、市場に安心感が広がったこと
- ② 2014年12月には新規発行が手控えられたことで、CB市場の需給環境が良好となり、CB価格の押し上げ要因となったこと

アムンディ・欧州CBファンド（ユーロコース）〈毎月決算型〉

【投資環境】

〈欧州CB市場〉

当作成期の欧州CB市場は、前半と後半で様相が大きく異なる展開となりました。7月から10月中旬にかけては、リスク回避姿勢の高まりを受けて、CB価格が下押し圧力にさらされました。信用スプレッドの大幅な拡大による影響で、特にミッド・キャップ（時価総額が中規模の企業）が発行した銘柄が、下落する展開となりました。10月中旬から期末にかけては、株式市場が反発したことや、欧州で新規CBの発行が見られなかったこともあって、優良銘柄のパフォーマンスが明確にミッド・キャップ銘柄を上回りました。現在、市場では流通量が比較的少ない優良企業のCB価格がテクニカル面で割高になっている一方、スモール・キャップ（時価総額が小規模の企業）やミッド・キャップは依然として割安で、二極化が見られます。

〈為替市場〉

当作成期、137円台前半で始まったユーロ/円相場は、9月初旬にECB（欧州中央銀行）が追加的な金融緩和を実施したものの、10月下旬までは大きな動きが見られませんでした。10月末に日銀が予想外の追加的な金融緩和策を発表すると、急速なユーロ高/円安が進行しました。12月初旬にユーロ/円相場は149円台をつけましたが、その後はユーロ圏のデフレ懸念に伴うECBの追加緩和観測や、ギリシャの政情不安などを背景に一転してユーロ安が進行し、136円台半ばで当作成期末を迎えました。

〈日本の短期国債市場〉

当作成期の日本の短期国債市場では、強い需要を背景に利回りは大きく低下後に乱高下しました。日銀による量的・質的金融緩和のもとで、TDB（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは0.02%近辺という極めて低い水準で始まりました。日銀が金融緩和策としてTDBを大量に買い入れ続けていることから需給は逼迫し、9月にはマイナス金利となりました。その後はTDBの需給により利回りはマイナス圏を乱高下し、-0.04%の利回りまで当作成期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

〈アムンディ・欧州CBファンド（ユーロコース）〈毎月決算型〉〉

当ファンドは、欧州の転換社債を主要投資対象とする円建の外国籍投資信託「ストラクチャラー欧州コンバーチブル（I10シェアクラス、ユーロ）」と、円建の国内籍投資信託「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」を投資対象とし、中長期的な投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いました。当ファンドは「ストラクチャラー欧州コンバーチブル（I10シェアクラス、ユーロ）」に90%以上投資することを基本としていることから、この運用の基本方針に従い、当該投資信託証券を高位に組み入れました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

〈ストラクチャラー欧州コンバーチブル（I10シェアクラス、ユーロ）〉

当作成期、起債はごく少数にとどまったものの、当ファンドは発行市場でドイツの不動産会社Deutsche Wohnen、医療機器のFresenius Medical Care、物流を手がけるBW GroupなどのCBを購入しました。流通市場では、Unibail、Gecinaといった不動産関連やAlcatel、Sainsburyを買い増しました。また、現在は株価が低迷しているものの、原油価格下落が今後数ヵ月内に業績にプラスに働くとの予想に基づき、Air FranceのCBを買い増しました。一方、Technip、Michelin、Peugeotなど、債券としての特徴が強く、利回りが低い銘柄の保有を削減しました。当ファンドのパフォーマンスについては、IAG、Deutsche Wohnen、Nokia、Industrivarden/I CAなどがリターンに貢献した一方、ArcelorMittal、Abengoa、Amorim/Galp、などがマイナスに寄与しました。

（アムンディ）

〈CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）〉

当作成期、主として6ヵ月未満に償還を迎える短期国債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

【分配金】

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、分配を行いました（各期の分配金額および分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

【今後の運用方針】

〈アムンディ・欧州CBファンド（ユーロコース）〈毎月決算型〉〉

当ファンドが投資する「ストラクチャード欧州コンバーチブル（I10シェアクラス、ユーロ）」の組入比率を引き続き高位に保ちます。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

〈ストラクチャード欧州コンバーチブル（I10シェアクラス、ユーロ）〉

欧州株式市場はグローバルに見て大半の市場よりも割安な水準で取引されていることから、株価の上昇による恩恵を享受することが可能なポートフォリオ構成を維持する考えです。欧州債券市場については、数ヵ月にわたりバリュエーションが割高な水準にとどまっていますが、その中でも銘柄によって格差が表面化しており、ミッド・キャップ銘柄に興味深い投資機会があると見られます。とはいえ信用分析には慎重を期し、特定のリスクの上昇には引き続き十分な注意を払っていきます。

（アムンディ）

〈CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）〉

安全性重視の観点から、短期国債への投資および債券現先取引により安定的な運用を行います。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

アムンディ・欧州CBファンド（ユーロコース）〈毎月決算型〉

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第5期～第10期 (2014年7月19日 ～2015年1月19日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	53円	0.553%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,662円です。
（投信会社）	(15)	(0.160)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(36)	(0.377)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	5	0.050	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(4)	(0.045)	印刷会社に支払うファンドに係る費用
合 計	58	0.603	

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2014年7月19日から2015年1月19日まで） 投資信託受益証券、投資証券

決 算 期		第 5 期 ～ 第 10 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額 千円	口 数	売 付 額 千円
国内	CAマネーブルファンド（適格機関投資家専用）	—	—	1,500,000	1,511
外国	（ルクセンブルク） ストラクチュラ-欧州コンバーチブル （I10シェアクラス、ユーロ）	257	2,500	13,342	127,998

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

■ 利害関係人との取引状況等（2014年7月19日から2015年1月19日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細（2015年1月19日現在）

(1) 国内（邦貨建）投資信託受益証券

銘 柄		第1作成期末 (第4期末)	第2作成期末（第10期末）	
		口 数	口 数	評 価 額
CAマネーブルファンド（適格機関投資家専用）		2,484,915	984,915	千円 992
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	2,484,915	984,915	992 <0.6%>
		1	1	

(注1) <>内は、純資産総額に対する評価額の比率です。以下同じ。

(注2) 評価額の単位未満は切捨てです。以下同じ。

(2) 外国（邦貨建）投資証券

銘柄	柄	第1作成期末 (第4期末)	第2作成期末 (第10期末)	
		口数	口数	評価額
(ルクセンブルク) ストラクチャラ-欧州コンバーチブル (I10シェアクラス、ユーロ)		口 31,529	口 18,443	千円 171,787
合計	口数・金額 銘柄数<比率>	31,529 1	18,443 1	171,787 <97.0%>

■投資信託財産の構成

2015年1月19日現在

項目	第2作成期末 (第10期末)	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 992	% 0.6
投資証券	171,787	95.5
コール・ローン等、その他	7,008	3.9
投資信託財産総額	179,787	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	(2014年8月18日)	(2014年9月18日)	(2014年10月20日)	(2014年11月18日)	(2014年12月18日)	(2015年1月19日)現在
	第5期末	第6期末	第7期末	第8期末	第9期末	第10期末
(A) 資産	305,015,593円	311,766,594円	292,027,997円	278,540,031円	193,981,563円	179,787,939円
コール・ローン等	6,431,838	6,254,592	6,320,023	5,435,454	6,551,719	5,010,225
投資信託受益証券(評価額)	2,504,048	2,504,048	2,504,048	2,504,048	992,498	992,498
投資証券(評価額)	296,079,704	303,007,951	283,203,923	270,600,528	186,437,345	171,787,155
未収入金	—	—	—	—	—	1,998,060
未収利息	3	3	3	1	1	1
(B) 負債	468,632	492,482	518,291	474,464	389,027	2,689,655
未払収益分配金	161,783	161,674	161,694	141,809	98,314	94,536
未払解約金	—	—	—	—	—	2,281,111
未払信託報酬	284,276	285,651	288,188	243,343	180,452	181,460
その他未払費用	22,573	45,157	68,409	89,312	110,261	132,548
(C) 純資産総額(A-B)	304,546,961	311,274,112	291,509,706	278,065,567	193,592,536	177,098,284
元本	323,566,844	323,349,135	323,388,734	283,618,710	196,629,815	189,073,710
次期繰越損益金	△19,019,883	△12,075,023	△31,879,028	△5,553,143	△3,037,279	△11,975,426
(D) 受益権総口数	323,566,844口	323,349,135口	323,388,734口	283,618,710口	196,629,815口	189,073,710口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,412円	9,627円	9,014円	9,804円	9,846円	9,367円

(注記事項)

作成期首元本額	323,427,336円
作成期中追加設定元本額	628,415円
作成期中一部解約元本額	134,982,041円

アムンディ・欧州CBファンド（ユーロコース）＜毎月決算型＞

■損益の状況

第5期 自2014年7月19日 至2014年8月18日 第8期 自2014年10月21日 至2014年11月18日
 第6期 自2014年8月19日 至2014年9月18日 第9期 自2014年11月19日 至2014年12月18日
 第7期 自2014年9月19日 至2014年10月20日 第10期 自2014年12月19日 至2015年1月19日

項 目	第 5 期	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期	第 10 期
(A) 配 当 等 收 益	409,985円	474,551円	474,634円	415,977円	285,425円	278,590円
受 取 配 当 金	409,882	474,457	474,537	415,925	285,276	278,562
受 取 利 息	103	94	97	52	149	28
そ の 他 収 益 金	—	—	—	—	—	137
支 払 利 息	—	—	—	—	—	△ 137
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 4,954,274	6,926,504	△ 19,804,027	22,393,954	747,184	△ 9,034,858
売 買 益	—	6,928,246	—	23,361,429	836,809	245,496
売 買 損	△ 4,954,274	△ 1,742	△ 19,804,027	△ 967,475	△ 89,625	△ 9,280,354
(C) 信 託 報 酬 等	△ 306,849	△ 308,235	△ 311,440	△ 264,246	△ 201,401	△ 203,747
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 4,851,138	7,092,820	△ 19,640,833	22,545,685	831,208	△ 8,960,015
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 12,877,750	△ 17,873,018	△ 10,941,872	△ 26,957,587	△ 3,076,078	△ 2,249,780
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,129,212	△ 1,133,151	△ 1,134,629	△ 999,432	△ 694,095	△ 671,095
(配 当 等 相 当 額)	(48,948)	(48,952)	(49,004)	(43,032)	(30,338)	(29,648)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,178,160)	(△ 1,182,103)	(△ 1,183,633)	(△ 1,042,464)	(△ 724,433)	(△ 700,743)
(G) 計 (D+E+F)	△ 18,858,100	△ 11,913,349	△ 31,717,334	△ 5,411,334	△ 2,938,965	△ 11,880,890
(H) 収 益 分 配 金	△ 161,783	△ 161,674	△ 161,694	△ 141,809	△ 98,314	△ 94,536
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 19,019,883	△ 12,075,023	△ 31,879,028	△ 5,553,143	△ 3,037,279	△ 11,975,426
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,129,212	△ 1,133,151	△ 1,134,629	△ 999,432	△ 694,095	△ 690,758
(配 当 等 相 当 額)	(48,948)	(48,952)	(49,004)	(43,032)	(30,338)	(29,648)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,178,160)	(△ 1,182,103)	(△ 1,183,633)	(△ 1,042,464)	(△ 724,433)	(△ 700,743)
分 配 準 備 積 立 金	86,386	379,440	380,940	604,904	628,705	606,020
繰 越 損 益 金	△ 17,977,057	△ 11,321,312	△ 31,125,339	△ 5,158,615	△ 2,971,889	△ 11,890,688

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

第5期計算期間末における費用控除後の配当等収益(103,136円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(48,948円)および分配準備積立金(145,033円)より分配対象収益は297,117円(10,000口当たり9円)であり、うち161,783円(10,000口当たり5円)を分配金額としております。

第6期計算期間末における費用控除後の配当等収益(454,793円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(48,952円)および分配準備積立金(86,321円)より分配対象収益は590,066円(10,000口当たり18円)であり、うち161,674円(10,000口当たり5円)を分配金額としております。

第7期計算期間末における費用控除後の配当等収益(163,194円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(49,004円)および分配準備積立金(379,440円)より分配対象収益は591,638円(10,000口当たり18円)であり、うち161,694円(10,000口当たり5円)を分配金額としております。

第8期計算期間末における費用控除後の配当等収益(411,168円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(43,032円)および分配準備積立金(335,545円)より分配対象収益は789,745円(10,000口当たり27円)であり、うち141,809円(10,000口当たり5円)を分配金額としております。

第9期計算期間末における費用控除後の配当等収益(229,758円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(30,338円)および分配準備積立金(497,261円)より分配対象収益は757,357円(10,000口当たり38円)であり、うち98,314円(10,000口当たり5円)を分配金額としております。

第10期計算期間末における費用控除後の配当等収益(74,843円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(29,648円)および分配準備積立金(606,050円)より分配対象収益は710,541円(10,000口当たり37円)であり、うち94,536円(10,000口当たり5円)を分配金額としております。

■分配金のお知らせ

決 算 期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
1万口当たりの分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手取り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超過して支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

課税上の取扱いについて

- 分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- 普通分配金
 ＜平成26年1月1日以降＞
 普通分配金並びに解約時または償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税および復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）の税率が適用されます。
 ＊法人の受益者の場合、税率が異なります。
 ＊少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合
 NISAをご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。
 ＊税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

【分配原資の内訳】

（単位：円・1万口当たり・税込み）

項 目	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
	(2014年7月19日 ～2014年8月18日)	(2014年8月19日 ～2014年9月18日)	(2014年9月19日 ～2014年10月20日)	(2014年10月21日 ～2014年11月18日)	(2014年11月19日 ～2014年12月18日)	(2014年12月19日 ～2015年1月19日)
当期分配金 (対基準価額比率)	5 (0.053%)	5 (0.052%)	5 (0.055%)	5 (0.051%)	5 (0.051%)	5 (0.053%)
当期の収益	3	5	5	5	5	3
当期の収益以外	1	—	—	—	—	1
翌期繰越分配対象額	4	13	13	22	33	32

(注1)「対基準価額比率」は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2)「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

《お知らせ》

- 平成26年12月1日付で、改正投資信託法の施行に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

ストラクチュラ-欧州コンバーチブル

< 1. 補足情報 >

「ストラクチュラ-欧州コンバーチブル（I 10 シェアクラス、ユーロ）」は、「ストラクチュラ-欧州コンバーチブル」にて既存の他のクラスと合わせた合同運用が行われています。

「ストラクチュラ-欧州コンバーチブル」の決算日は毎年12月末ですが、現在入手可能な決算情報がないため掲載しておりません。

つきましては、以下2015年1月16日現在における「ストラクチュラ-欧州コンバーチブル」の補足情報を掲載しております。

■ 有価証券明細（評価額上位30銘柄）

（2015年1月16日現在）

銘柄		利率	額面金額	評価額	償還年月日	
アラブ首長国連邦 イタリア	社債券	AABAR INV REGS CV 4.00 11-16 27/05S	4	1,300,000	1,629,368.00	2016/5/27
		ENI SPA CV 0.625 13-16 18/01A	0.625	1,400,000	1,480,822.00	2016/1/18
オランダ		SIEMENS FIN CV 1.05 12-17 16/08S	1.05	1,500,000	1,438,825.83	2017/8/16
フランス		MISARTE CV 3.25 10-16 01/01A	3.25	7,210	1,278,341.27	2016/1/1
		FONCIERE DES REGIONS 3.34 11-17 01/01S	3.34	11,750	1,121,186.74	2017/1/1
		AXA SA CV SUB 3.75 00-17 01/01A	3.75	3,950	1,092,897.65	2017/1/1
ルクセンブルク		SUBSEA 7 INC CV 1.00 06-11 06/06S	1	1,400,000	1,071,926.94	2017/10/5
ポルトガル スペイン フランス	特殊債券 社債券	PARPUBLICA SGPS SA CV 5.25 10-17 28/09A	5.25	950,000	1,028,888.00	2017/9/28
		LA CAXA CV 1.00 13-17 25/11S	1	900,000	1,015,200.00	2017/11/25
		AIR FRANCE KLF CV 4.97 09-15 01/04A	4.97	83,158	987,920.82	2015/4/1
		ALCATEL LUCENT CV 0.00 14-19 30/01U	0	221,293	913,497.50	2019/1/31
オランダ		UNIBAIL RODAMCO CV 0.00 14-21 01/07U	0	2,820	859,942.08	2021/7/1
オランダ		STMICROELECTRONICS NV 0.00 14-19 03/07U	0	1,000,000	839,608.61	2019/7/3
フランス ルクセンブルク		AIR FRANCE KLM CV 2.03 13-23 15/02A	2.03	70,145	810,806.06	2023/2/15
		GBL VERWALTUNG CV 1.25 13-17 07/02A	1.25	700,000	802,207.00	2016/2/7
ジャージー、チャネリ島 イギリス		BRITISH LAND CV 1.50 12-17 10/09S	1.5	500,000	793,644.01	2017/9/10
		J SAINSBURY PLC 1.25 14-19 21/11S	1.25	500,000	686,111.48	2019/11/21
		TUI AG CV 4.90 10-17 27/04S	4.9	400,000	675,435.78	2017/4/27
ルクセンブルク フランス		FORTFINLUX SA REG-S FL.R 02-XX 29/11Q	1.431	1,000,000	649,000.00	2049/11/29
		BNP PARIBAS CV 0.25 12-15 21/09A	0.25	600,000	648,828.00	2015/9/21
		PEUGEOT SA 4.45 09-16 01/01S	4.45	24,478	640,845.31	2016/1/1
オランダ スペイン		ACS ACTIVIDADES CV 1.625 14-19 27/03Q	1.625	600,000	635,430.00	2019/3/27
		INTL CONSOL AIRLIN CV 1.75 13-18 31/05S	1.75	400,000	630,340.00	2018/5/31
ケイマン諸島		SIEM KAPITAL INC 1.00 12-19 12/09S	1	800,000	613,726.46	2019/9/12
ドイツ フランス		FRESENIS REGS CV 0.00 14-19 24/09U	0	500,000	593,125.00	2019/9/24
		ALCATEL LUCENT 0.125 14-20 30/01S	0.125	146,811	593,112.21	2020/1/30
オランダ		LUKOIL INTL CV (SHS) 2.625 10-15 16/06S	2.625	700,000	592,663.62	2015/6/16
フランス ベルギー		CGG VERITAS CV 1.25 13-19 01/01S	1.25	23,000	573,666.00	2019/1/1
		FORTIS BK SUB CV FL.R 07-XX 19/12Q	2.081	750,000	560,452.50	2049/12/19
オランダ		QIAGEN FINANCE CV 0.375 14-19 19/03S	0.375	600,000	557,750.81	2019/3/19

CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）

< 2. 補足情報 >

「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」の決算日は毎年2月15日ですが、当ファンドの設定日が2014年3月28日のため、当作成期における決算日の情報はございません。

つきましては、以下2015年1月19日現在における「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」の補足情報を掲載しております。

■主要な売買銘柄（2014年3月28日から2015年1月19日まで）

公社債

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
第443回国庫短期証券	499,885		
第451回国庫短期証券	699,867		
第457回国庫短期証券	999,830		
第464回国庫短期証券	999,890		
第492回国庫短期証券	999,960		

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) 国内の現先取引によるものは含まれておりません。

■組入資産の明細

公社債

(A) 公社債種類別

国内（邦貨建）公社債

区 分	2015年1月19日現在						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格	残存期間別組入比率		
				以下組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	4,500,000	4,500,276	79.4	—	—	—	79.4
合 計	4,500,000	4,500,276	79.4	—	—	—	79.4

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(注4) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(B) 公社債銘柄別

国内（邦貨建）公社債

2015年1月19日現在

種 類	銘 柄	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
国債証券	第492回国庫短期証券	—	1,000,000	999,996	2015/2/16
	第498回国庫短期証券	—	3,500,000	3,500,280	2015/6/10
合 計			4,500,000	4,500,276	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント